

すわみつえ通信

No.155 2021年1月4日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諒訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に



青空広がる穏やかな天候に恵まれた
お正月でした。皆さんはいかがお過ご
でしたでしょうか。
我が家は、離れて暮らす息子・娘家族
と初めて「ZOOM」で新年の挨拶を交
わしました。距離を保ちながらの生活
をまだ続けなくてはならないようです。
これからも、スマホやタブレットを使
いながら互いの健康を気遣いたいと思
います。

鴻巣市の新型コロナ累計陽性者数は、
138名(1月3日現在)に上りました。
一日の最多記録を更新しながら急増
する感染の収束を願い、活動する新し
い年の始まりです。

2020年5月から2020

年12月までの間に

①ひと月の売上が去年
と比較して50%以上 減つ
た。

②連続3カ月の売上の
合計が前年の同じ期間
の売上の合計と比較して
30%以上減った。

=右下の表に続く=

個人事業者や中小企業主
の方でまだ申請をしていな
い場合は1月15日まで

『家賃支給給付金』

核兵器禁止条約は、2017年1月
に122か国により採択され、昨年12
月に51か国が批准しました。いよい
よ今月22日に発効します。史上初め
て違法化されることになります。
世論調査では、6割の国民が禁
止条約への参加を求めています。唯
一の戦争被爆国である日本政府が禁
止条約に参加・批准しないのであれば、
国民の多くが望む「核のない平和な
世界」に貢献する政府に変えるしか
ありません。今年は総選挙の年です。
市民と野党の戦闘で政権を変える手や
手段です。「コロナ対策で無為無策な管
理にはいのちも暮らしも平和も守
れません。「政権奪取」のバトンをに
ぎりダッシュします!

希望ある年へ!
ダッシュ
政権奪取!!



(左の写真) 接触控えるため? 働く
ロボット・鴻巣市内のラーメン店で

【コロナの影響で①または②であれば】

- (1)確定申告書 (2)2020年の月別の売上がわかるもの
 - (3)本人確認書類 (4)通帳 (5)賃貸借契約書
 - (6)直近3カ月の家賃を支払ったことが証明できるもの
- スマホで上記6つの写真を撮り、次のURLに送ることで
申請できます。

<https://yachin-shien.go.jp/index.html>

※持続化給付金申請締め切りも1月15日となっています。
鴻巣市ホームページでお知らせしています。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

2021 「オール野党」で
政権交代

政治に春を

新しい
日本をつく
5つの提案

1 格差ただし、
家計第一の政治に

2 宪法まもり、
立憲主義をとりもどす

3 いいなり外交やめ、
自主・自立の平和外交へ

4 グリーン・リカバリー
自然と共生を

5 ジェンダー平等、
個人尊重の政治に

全文はこちら▶



21年 政局展望

しんぶん赤旗 1月1日付

冷酷な新自由主義の政治を転換し野党連合政権実現を



（上右から）
共産・志位和夫
委員長
（下左から）
立民・枝野幸男
代表
社民・福島みずほ
代表
国民党
玉木雄一郎
代表
（上右から）
民進・志位和夫
委員長
（下左から）
立民・枝野幸男
代表
社民・福島みずほ
代表
国民党
玉木雄一郎
代表

■2021年の主な政治日程

- | | |
|--------|------------------------|
| 1月18日 | 通常国会召集 |
| 30日 | 立憲民主党大会 |
| 4月25日 | 衆院北海道2区と参院長野選挙区
の補選 |
| 6~7月 | 東京都議会議員選挙 |
| (7~8月) | 東京オリンピック |
| (8~9月) | 東京パラリンピック |
| 10月21日 | 衆院議員任期満了 |

衆院議員任期満了の10月までには必ず総選挙が行われる2021年の幕が開けました。

新型コロナウイルス感染「第3波」の拡大のなか、無為無策、逆行を続ける菅政権は、深刻な政治的行き詰まりのものと新年を迎える。

昨年末12月の「読売」世論調査で内閣支持率は45%に。9月の内閣発足時の74%から3カ月余りで30ポイント下落という歴史的な数字です。同調査で菅政権のコロナ対応を「評価しない」が62%となりました。国民の間では「いま政治は何をしてくれるのか」という政治への切実な関心が強まり、こんな社会を続けていいのかと、前向きな模索が強まっています。「自助、共助、公助」「まずは自分でやってみる」とあからさまに新自由主義を唱える首相でいいのか。来るべき総選挙は、こうした政治、社会の在り方を根底から問い直す歴史的なたたかいとなります。

政権担当能力が欠如する菅自公政権に審判を下し、新しい政治を実現するには、市民と野党の共闘を発展させ、政権交代を実現し、野党連合政権を樹立することが必要です。

1月18日からの通常国会では、コロナ対策、学術会議問題、「政治とカネ」の疑惑解明など総選挙の帰趨(きすう)に直結する大論戦が展開されます。

日本共産党は、総選挙で政権交代への責任を果たすとともに党自身の躍進をめざしています。



「JCP サポーターまつりオンライン」観てください!

日本共産党公式 YouTube → <https://www.youtube.com/user/jcpmovie>

